

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大福

上場会社名 株式会社トータル・メディカルサービス  
 コード番号 3163 URL <http://www.tms-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 繁樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小倉 賢一

TEL 092-941-4141

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,541	9.6	234	△20.4	238	△15.5	128	△7.5
23年3月期第2四半期	3,232	—	294	—	282	—	138	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	86.40	—
23年3月期第2四半期	100.71	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,631	—	1,948	—	—	42.1
23年3月期	4,339	—	1,899	—	—	43.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,948百万円 23年3月期 1,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	150.00	150.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成23年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,244	10.0	647	3.3	654	5.7	345	8.6	232.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	1,485,900 株	23年3月期	1,485,900 株
24年3月期2Q	294 株	23年3月期	294 株
24年3月期2Q	1,485,606 株	23年3月期2Q	1,377,216 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成23年4月1日付で1株につき3株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(3) 追加情報 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び原子力発電所の事故による影響により停滞していた生産活動や、個人消費の落ち込みが緩やかに回復しつつあるものの、歴史的な円高による企業収益の減少、欧州や米国の経済不安による世界経済の失速など景気下振れリスクが存在し、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社が属する調剤薬局業界におきましては、急速な少子高齢化社会の進展を背景に、社会保障に関する財政改善を目的とした医療費抑制政策の継続基調は変わらず、薬価の引下げなど様々な医療制度改革が行われており、引き続き厳しい状況となっております。

こうした環境の中、当社は、業務の効率化によるコスト削減を図るため、調剤設備を充実させるなどIT化による効率化を図り、収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,541,677千円と前年同四半期に比し308,768千円(9.6%増)の増加となりました。損益面では、5月及び6月に新規開局した店舗並びに7月に病院隣接地に新規出店した売店に係る初期費用の発生などにより営業利益は234,157千円と前年同四半期に比し59,982千円(20.4%減)の減少、経常利益は238,527千円と前年同四半期に比し43,728千円(15.5%減)の減少、四半期純利益は128,353千円と前年同四半期に比し10,342千円(7.5%減)の減少となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①調剤薬局事業

当第2四半期累計期間において2店舗を新規開局したことや既存店舗で処方箋枚数が順調に増加したことから、売上高は3,321,999千円と前年同四半期に比し317,631千円(10.6%増)の増加となりました。

#### ②その他

健康食品事業の売上高は16,318千円、メディカルサポート事業の売上高は203,360千円となり、合計で219,678千円と前年同四半期に比し8,863千円(3.9%減)の減少となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は2,035,971千円となり、前事業年度末残高1,936,693千円に対し99,278千円増加しました。これは主として、2店舗を新規開局したことや既存店舗についても売上高が増加したことに伴い売掛金が101,053千円、商品が44,092千円増加した一方で、現金及び預金が55,563千円減少したことによるものであります。

##### (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は2,595,648千円となり、前事業年度末残高2,402,801千円に対し192,847千円増加しました。これは主として、新規開局した2店舗並びに新規出店した売店の建物の取得等による増加239,859千円と土地の一部売却や減価償却等による減少78,114千円との差引により有形固定資産が161,745千円、賃貸用不動産を取得したことなどにより投資不動産が64,155千円増加した一方で、のれんの償却によりのれんが31,974千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は2,118,066千円となり、前事業年度末残高1,949,305千円に対し168,761千円増加しました。これは主として、(流動資産)の売掛金等の増加要因と同様の理由で、当第2四半期において医薬品の購入量が増加したことに伴い買掛金が202,398千円増加した一方で、未払法人税等が63,495千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は565,158千円となり、前事業年度末残高490,629千円に対し74,528千円増加しました。これは主として、新規借入等により長期借入金が79,637千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,948,395千円となり、前事業年度末残高1,899,559千円に対し48,835千円増加しました。これは主として、利益剰余金が54,073千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ55,563千円減少し、704,510千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、224,688千円(前年同四半期は331,489千円)となりました。これは主として、税引前四半期純利益が242,788千円、減価償却費が58,587千円、のれん償却額が31,974千円、仕入債務の増加額が202,398千円あった一方で、売上債権の増加額が101,053千円、法人税等の支払額が184,736千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、266,587千円(前年同四半期は32,328千円)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が220,017千円、投資不動産の取得による支出が66,320千円あった一方で、有形固定資産の売却による収入が30,600千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、13,663千円(前年同四半期は145,936千円の収入)となりました。これは主として、短期借入金が20,000千円減少し、長期借入金の返済による支出が108,775千円、配当金の支払額が74,104千円あった一方で、長期借入れによる収入が200,000千円あったことによるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月12日に発表いたしました業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間から、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

この適用により、第1四半期会計期間に行った株式分割は、前事業年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第2四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は302円12銭であります。

### (3) 追加情報

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	801,073	745,510
売掛金	899,884	1,000,937
商品	167,452	211,545
その他	69,184	78,982
貸倒引当金	△901	△1,004
流動資産合計	1,936,693	2,035,971
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	530,780	692,832
土地	1,037,588	1,009,170
その他(純額)	133,372	161,485
有形固定資産合計	1,701,741	1,863,487
無形固定資産		
のれん	127,898	95,923
その他	44,782	38,331
無形固定資産合計	172,680	134,255
投資その他の資産		
投資有価証券	142,242	130,470
投資不動産(純額)	140,677	204,832
その他	247,916	264,670
貸倒引当金	△2,457	△2,067
投資その他の資産合計	528,378	597,905
固定資産合計	2,402,801	2,595,648
資産合計	4,339,494	4,631,620

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	913,428	1,115,827
短期借入金	661,744	653,332
未払法人税等	189,500	126,005
賞与引当金	71,460	83,567
その他の引当金	6,000	2,500
その他	107,171	136,835
流動負債合計	1,949,305	2,118,066
固定負債		
長期借入金	316,501	396,138
退職給付引当金	58,034	59,465
役員退職慰労引当金	65,689	68,635
その他	50,404	40,919
固定負債合計	490,629	565,158
負債合計	2,439,934	2,683,224
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	281,661	281,661
資本剰余金	184,661	184,661
利益剰余金	1,425,624	1,479,698
自己株式	△367	△367
株主資本合計	1,891,579	1,945,653
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,980	2,741
評価・換算差額等合計	7,980	2,741
純資産合計	1,899,559	1,948,395
負債純資産合計	4,339,494	4,631,620



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,232,909	3,541,677
売上原価	2,692,863	3,042,895
売上総利益	540,045	498,782
販売費及び一般管理費	245,905	264,624
営業利益	294,139	234,157
営業外収益		
受取利息	359	336
受取配当金	865	857
受取賃貸料	6,045	7,045
受取保険金	85	1,729
その他	3,943	2,104
営業外収益合計	11,300	12,072
営業外費用		
支払利息	3,873	3,886
株式交付費	8,565	—
株式公開費用	9,287	—
投資不動産管理費用	1,403	3,589
その他	55	227
営業外費用合計	23,184	7,702
経常利益	282,255	238,527
特別利益		
固定資産売却益	327	5,581
特別利益合計	327	5,581
特別損失		
固定資産除売却損	235	94
投資有価証券売却損	—	750
投資有価証券評価損	—	475
ゴルフ会員権評価損	4,307	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	915	—
特別損失合計	5,457	1,320
税引前四半期純利益	277,125	242,788
法人税、住民税及び事業税	149,966	121,889
法人税等調整額	△11,537	△7,455
法人税等合計	138,428	114,434
四半期純利益	138,696	128,353

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	277,125	242,788
減価償却費	40,176	58,587
のれん償却額	31,974	31,974
貸倒引当金の増減額(△は減少)	237	△286
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,258	12,107
その他の引当金の増減額(△は減少)	△2,500	△3,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,131	1,431
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,140	2,946
受取利息及び受取配当金	△1,225	△1,193
支払利息	3,873	3,886
株式交付費	8,565	—
固定資産除売却損益(△は益)	△91	△5,487
ゴルフ会員権評価損	4,307	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	915	—
売上債権の増減額(△は増加)	△24,382	△101,053
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,745	△44,092
仕入債務の増減額(△は減少)	111,047	202,398
その他	679	11,529
小計	439,487	412,036
利息及び配当金の受取額	1,225	1,193
利息の支払額	△3,769	△3,805
法人税等の支払額	△105,453	△184,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,489	224,688
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	—	1,750
有形固定資産の取得による支出	△24,177	△220,017
有形固定資産の売却による収入	2,841	30,600
投資不動産の取得による支出	—	△66,320
その他	△10,991	△12,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,328	△266,587
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,000	△20,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△104,292	△108,775
リース債務の返済による支出	△10,468	△10,783
株式の発行による収入	277,756	—
配当金の支払額	△21,060	△74,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	145,936	△13,663
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	445,097	△55,563
現金及び現金同等物の期首残高	481,514	760,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	926,612	704,510

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。